

◇ 教員免許更新講習シラバス（選択領域分）

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学総務課)

講 座 名		主 な 受 講 対 象 者	時 間	形 態
中高国語科の指導と教育内容の充実		中学校・高等学校教員（国語科）	6 h	講義
日 程	定 員	講師名（所属・職名等）		
8月12日（火）	50人	棚橋 尚子（奈良教育大学・教授） 前田 広幸（奈良教育大学・准教授） 日高 佳紀（奈良教育大学・准教授） 橋本 昭典（奈良教育大学・准教授）		
会 場	試験方法			
奈良教育大学	筆記 （テーマごと）			
【講座の概要】 4つの小テーマを扱った講義を開講する。各講義では、国語科教育学、日本語学、日本文学、漢文学分野を専門とする大学教員がそれぞれの分野の最新の研究成果のうち、今後の中高国語科の指導と教育内容の充実のため特に有益と思われるものを選び出し、解説する。受講者には各講義で解説された内容を理解し、その基礎的部分について自らの言葉で説明できるよう求める。				
【小テーマ①】「言語力」の育成をどのように考えていくか （講師：棚橋尚子） 平成20年3月に示された新しい学習指導要領の内容を今日的な課題に基づき解説することを通し、今後の国語科教育の在り方を明らかにする。また、その際参考になるとと思われるフィンランドの教育法について一端を紹介し、受講者の日々の実践を省察できるようにする。				
【小テーマ②】平曲譜本から再構される平家物語の発音 （講師：前田広幸） 「那須与一」の章段を例にとり、平家物語をいかに琵琶の伴奏とともに語るか「節博士」により記録した一つの譜本をテキストに、そこから墨譜付け当時の日本語の発音を推定する具体的手順について、基本的部分を解説する。				
【小テーマ③】読者論・読書論を用いた教材研究 （講師：日高佳紀） 多様な読みの可能性において、文学的文章の価値を評価する視点は、どのように教材から捉えることが出来るのか。読書論的・読者論的な視点からの教材研究の方法と、教育現場でどのようにそれが機能しうるか、具体的な教材をモデルとしながら、講義する。				
【小テーマ④】漢文の特質を生かした教育の方法 （講師：橋本昭典） 国語科において漢文を学ぶことの意義とその方法について、漢文の特質、漢文素読の効用、漢文の語法、漢字と漢語、漢和辞典の情報といった事項・観点から講義を行う。				